

200回、300回のえいよう会へ 事務局長 吉田 恭子

初めて「えいよう会」に出席したのは、2009（平成21）年11月であったと記憶しています。以来7年、参加率は8割くらいになるでしょうか。来るもの拒まず、連絡も不要という、なんとも「ゆるーい」飲み会で、かつて、まちづくりの仕事をしていた経験があるとはいえ、都市計画の専門知識のない私でも、皆さんと楽しく会話ができる大変居心地の良い会です。

また、この間、函館や仙台、山梨、葉山、八王子など、えいよう会らしくひたすら飲んでいる一方でその土地の魅力を体感できるツアーや、栄耀さんのお墓参りなど特別プログラムにも参加させていただきました。

えいよう会の魅力は、何と言っても「出会い」です。年齢もまちまち、職業もまちまちな方々との出会いは、財産です。大切にしていきたいと思っています。

私ごとですが、今年3月で退職し時間に余裕ができましたので、忙しい仕事の合間にえいよう会を支えてくださっている牧野さんのお手伝いができたらと思っていますので、どうぞよろしく願いいたします。

これから、200回目、300回目のえいよう会に向け、様々な方との出会いを楽しみにしています。



えいよう会 なんとなくルール

- ・飲みたい時に、ふらっと飲む（12月以外は出欠とらず）
- ・次々回まで日程を決める
- ・来る者拒まず
去る者追わず



- ・楽しく飲んで、楽しく帰る（時々、なかなか帰らず…）
- ・礼儀をわきまえつつ、言いたいことを言う。
そして飲んで忘れる



Special
thanks to



And
More.

編集後記

えいよう会が100回を迎えました。この回数は、あくまで定例会をカウントしたもので、毎年秋のお墓まいりや、旅行企画などを加えると、ホームページに掲載している分だけでも119回になります。いやあ、よく続いたものだなと思います。この間、ご参加いただいた皆さん、そして、いい加減な予約を許してくれている「ごまや渋谷店」の皆さんに、感謝しております。

また、100回記念イベントの開催に当たって、幹事団メンバーや、東京大学の中島先生、歌舞伎町商店街振興組合の杉山副理事長様、城事務局長様、渋谷コンシェルジュの会に、お忙しい中、ご協力・ご尽力いただきました。改めて御礼申し上げます。

私にとって、えいよう会につながる原点

は、濱出さんとの出会いです。今の会社に転職した当初で、正確には覚えていませんが、2001（平成13）年の9～10月ごろのように思います。それから飲みにご一緒させていただくようになり、早15年近くになります。途中から、えいよう会がスタートし、たくさんの方とお目に掛かることができました。本当に有難いことだと思っています。

数人でスタートし、一時期は25人くらい来るようになって少々面倒だったのですが、いまはだいたい十数人という規模でしょうか。なかなかちょうどいい按配です。

何回まで行くかは分かりませんが、飲みに来たい人がいる間は続くでしょう。これからもどうぞよろしくお願いいたします。（2016（平成28）年6月18日、牧野 洋久）

非営利
無目的
飲会

えいよう会 ～100回記念号～

都市計画家・石川栄耀氏の一冊の本をきっかけに始まった「えいよう会」が、この6月で100回を迎えることになりました。2008（平成20）年からスタートし、東京・渋谷を中心に、毎月必ず飲み明かし、時には旅行企画などを行ってきました。飲んで飲まれて二日酔い…の繰り返しのようですが、継続は力なりでもあります。これまでの活動と、私たちが尊敬する栄耀さんのことを、改めて振り返ってみましょう。



えいよう会100回記念 御挨拶

皆様、えいよう会が100回を迎えました。

いつも参加された方、時々参加された方、1回でも参加された方、皆様本当に有難うございます。このような日が迎えられたことを心から嬉しく思います。

縁が縁を呼んでえいよう会が発足して既に8年、基本的にはただの飲み会であるこの会がこれほど長く続くのは異例のことではないでしょうか。設立メンバーも100回も続くなど夢にも思っていなかったことと思います。

振り返れば短くも感じますが、斯くも長く続いた最大の要因は、様々な立場で参加された多くの皆さんが、経験と個性豊かな良い人（酒好き）だったからだと思います。石川栄耀先生の話題もありましたが、世界の政治経済情勢から身近な日常の出来事、テレビの話題まで何でも話し合えました。

自由参加で縛りのない月1回の飲み会であったこと、しかも飲み放題で参加時間も人数も柔軟に対応してくれた「ごまや渋谷店」という拠点が得られたことは大きいと思います。また、山梨をはじめとした各地への「えいよう会ツアー」に加えて、毎年9月に栄耀先生のお墓参

相談役（初代 代表幹事） 濱出 憲治

り「栄耀忌」などの行事も、長続きする大きな要因になったと思います。

そして、なんと言っても当初から幹事役に徹するとともに「えいよう会ホームページ」を作ってくれたマッキー（牧野洋久さん）、今回の100回記念企画を含めマッキー転勤中の2年間幹事役をして頂いた渡邊耕さん、様々なリーダーの方々の御尽力があったればこそだと思えます。

今後のえいよう会の世話役ですが、今年4月のえいよう会で御承認頂きましたように、私は代表幹事を辞して相談役とさせて頂きました。新しい代表は栄耀先生のお孫さんと都市づくりのプロの渡邊耕さんをお願いすることになりました。また、新たに事務局機能強化のため今年3月渋谷区を退職した吉田恭子さんに事務局長をお願いしました。新聞社編集局次長に昇進されたマッキーには、引き続き幹事としてお世話頂きます。

新体制では、えいよう会発足のきっかけとなった石川栄耀著『私達の都市計画の話』のPRや、ホームページの充実、新たなイベントの開催等、えいよう会の更なる発展に向けて努力して頂けるものと期待しています。

最後に、えいよう会に参加し、会を支えて頂きました皆様に重ねて御礼申し上げますとともに、皆様の御健勝と御発展を祈念して、えいよう会100回記念の挨拶とさせて頂きます。



栄耀と石川村、そして「えいよう会」

えいよう会第100回！！
100ヵ月連続の開催というのは大変おめでたいですね。

会の名前となっている石川栄耀（1893（明治26）年9月7日山形県尾花沢生れ～1955（昭和30）年9月26日没）は、小生の母・玲子（栄耀四女）方の父＝祖父にあたります。しかし、1961（昭和36）年生まれの私は会ったことがありません。そもそも母が結婚したのが1956（昭和31）年なので会いようがないのです。ですから孫とはいうものの「石川栄耀のことはまったく知りません！」というのが正直なところ。ただ一つ言えるのは、そのじい様が愛した東京・目白の居宅、通称「石川村」で幼少期を過ごした記憶があることくらいでしょうか。

「石川村」について少しご紹介します。かつて栄耀の義父・石川銀次郎は、鉄道技師として埼玉県大宮市、岩手県盛岡市を転任後、目白（東京都豊島区）に居を構えました。現在のJR目白駅から西へしばらく歩いた閑静な住宅地の一角にありました。栄耀はこの郊外住宅地を、そして秀島乾先生設計による自邸をこよなく愛していました。ご近所の徳川黎明会・徳川義親を会長に「目白文化協会」を設立し、先代の柳家小さんらを招いて落語会

第2代 代表幹事（発起人の一人） 渡邊 耕

を開いていたそうです。栄耀の話術やユーモアは落語の趣味に由来するものと思われます。歌舞伎町などの盛り場・繁華街の計画、いわゆる「夜の都市計画」の実践は、こうした文化的な人の交わりを大切にしたい思いの表れなのでしょう。家庭においてもクリスマスに家族でささやかなパーティをしました。クリスチャンではないのですが、妻の清（きよ）が12月24日生れなので洒落をきかせたのでしょう。四姉妹が『若草物語』を演じたこともあったようです。栄耀亡き後も毎年、清を囲んで親族が集まりました。二男四女の夫婦とその子供12人、総勢25名がわずか10畳ほどの居間で大宴会をする光景は、とてもアジア的で今も鮮明に記憶に残っています。

そんな記憶もおぼろげになりかけた2008（平成20）年初め、たまたま勤め先が渋谷に事務所を構えていたご縁で、渋谷区の濱出さんや新聞記者の牧野さんらと知り合い、えいよう会の立ち上げに参加することができたのです。その後、多くの方と出会ってご縁が広がり今日に至っています。「社会に対する愛情、此れを都市計画という」は栄耀の至言ですが、人と人の交流こそが栄耀の目指したもののなかもかもしれません。栄耀のことを私は知りません。でも「えいよう会」に参加して歓談することで、栄耀に会えるような気がします。

さあ、今宵も盛大に飲み語りましょう！ くれぐれも健康第一で。

えいよう会のご紹介

東京・渋谷を中心に毎月開いている飲み会です。石川栄耀氏に共感を覚える面々が、「まちづくりを語る」というお題目を口実に、飲み続ける集まり。活動内容といっても、飲み会と栄耀氏のお墓参り、旅行というお遊びサークルというイメージです。

参加した方が、お知り合いを連れてきて、またその方が新たな人を呼び込むという形で、徐々に輪が広がっていきました。ただ、まちづくり関係者という縛りがある訳ではなく、お酒の香りに誘われた人であれば、誰でも大歓迎です。栄耀氏のことをほとんど知らない方も、多いのではないのでしょうか。一度きりの方も多いので、初めての方も遠慮なく、どうぞいらしてください。

問い合わせ先:幹事・牧野 eiyoukai@yahoo.co.jp
ホームページ http://eiyoukai.la.coocan.jp/

えいよう会100回の軌跡

2008(平成20)年

3月4日 初会合(4人)
4月8日 第2回会合
5月14日 第3回会合
6月20日 第4回会合
7月16日 第5回会合
8月22日 第6回会合
9月24日 第7回会合
10月24日 第8回会合
11月21日 第9回会合
12月25日 第10回会合

2009(平成21)年



1月27日 第11回会合
2月25日 第12回会合
3月25日 第13回会合
4月23日 第14回会合
5月21日 第15回会合
6月30日 第16回会合
7月28日 第17回会合
8月31日 第18回会合
9月29日 第19回会合
10月26日 第20回会合
11月26日 第21回会合
12月25日 第22回会合
初めての記念写真

2010(平成22)年



1月15～16日 熱海ツアー
初の旅行企画
1月26日 第23回会合
2月24日 第24回会合
3月23日 第25回会合
4月22日 第26回会合
5月20～23日 函館ツアー
5月27日 第27回会合
6月24日 第28回会合
7月28日 第29回会合
8月26日 第30回会合
9月26日 没後55年
栄耀忌開始
9月30日 第31回会合
10月26日 第32回会合
11月14日 石川允氏インタビュー
11月30日 第33回会合
12月10～11日 山梨・石和温泉ツアー
12月21日 第34回会合

2011(平成23)年



1月25日 第35回会合
2月22日 第36回会合
3月24日 第37回会合
4月25日 第38回会合
4月29～30日 神奈川・葉山ツアー
5月23日 第39回会合
6月11～12日 山梨・身延ツアー
6月28日 第40回会合
7月27日 第41回会合
8月31日 第42回会合
9月24日 栄耀忌2011
9月30日 第43回会合
10月27日 第44回会合
10月28日 八王子ツアー
11月30日 第45回会合
12月22日 第46回会合

2012(平成24)年



1月24日 第47回会合
2月27日 第48回会合
3月27日 第49回会合
4月26日 第50回会合
5月28日 第51回会合
6月9～10日 勝沼ワインツアー
6月28日 第52回会合
7月24日 第53回会合
8月28日 第54回会合
9月24日 第55回会合
9月29日 栄耀忌2012
10月31日 第56回会合
11月29日 第57回会合
12月14～15日 忘年会ツアーin熱海
12月17日 第58回会合

2013(平成25)年



1月29日 第59回会合
2月26日 第60回会合
3月12日 伊藤さん送別会
3月26日 第61回会合
4月30日 第62回会合
5月27日 第63回会合
6月24日 第64回会合
7月5～7日 北海道・名寄ツアー
7月30日 第65回会合
8月3日 FC東京サッカー観戦
8月26日 第66回会合

2014(平成26)年



9月27日 栄耀忌2013
9月30日 第67回会合
10月29日 第68回会合
11月26日 第69回会合
12月25日 第70回会合

1月14日 第71回会合
1月24～25日 伊豆長岡旅行
2月25日 第72回会合
3月18日 第73回会合
4月28日 第74回会合
5月26日 第75回会合
6月24日 第76回会合
7月22日 第77回会合
8月26日 第78回会合
9月13日 栄耀忌2014
9月29日 第79回会合
10月27日 第80回会合
11月25日 第81回会合
12月22日 第82回会合

2015(平成27)年



1月29日 第83回会合
2月25日 第84回会合
3月27日 第85回会合
4月28日 第86回会合
5月27日 第87回会合
6月24日 第88回会合
7月30日 第89回会合
8月27日 第90回会合
9月26日 栄耀忌2015
9月30日 第91回会合
10月26日 第92回会合
11月24日 第93回会合
12月22日 第94回会合

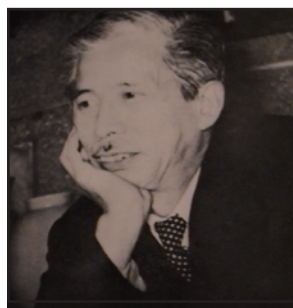
2016(平成28)年



1月25日 第95回会合
2月24日 第96回会合
3月24日 第97回会合
4月26日 第98回会合
5月25日 第99回会合
6月18日 第100回会合

いしかわ ひであき

石川 栄耀 氏 1893(明治26)年～1955(昭和30)年、享年62歳



大正期から戦後にかけて活躍した都市計画家。1919年(大正8)年の都市計画法公布後の第1期生として現場で実践を重ね、名古屋での区画整理による基盤整備や、東京における戦災復興計画の立案などに取り組みました。新宿・歌舞伎町や、地下商店街の先駆けである「渋谷地下商店街(しぶちか)」の誕生にも力を注ぎました。

戦災復興計画が占領下のドッジ・ライン(緊縮財政政策)により大幅な縮小を余儀なくされるなど実現に至らなかったプランもありますが、徹底した現場主義者であり、全国各地を回り、より良い都市の姿を訴え続けました。亡くなる2週間前に、奥様に「ロケットで宇宙旅行をしよう」と話されていたそうです。そのエピソードに、何事に対しても先を見続けていた探求者の姿を感じます。

『私たちの都市計画の話』 (兼六館)



100回記念イベントを開催しました! 2016(平成28)年6月18日(土)

2016年6月18日(土)、えいよう会の100回記念イベントを開きました。第一部では、東京大学准教授の中島直人様を講師に招き、戦災復興での栄耀氏ゆかりの地を巡りました。

出発点は、麻布十番(東京都港区)の広場「パティオ十番」です。広場の土台となった幅広の道路などを、街の人たちが生かして、賑わいや憩いの核に仕上げました。続いて、播磨坂と湯立坂(東京都文京区)へ。環状3号線の一部として生み出された道路が、桜の名所の遊歩道となった播磨坂。そして、グリーンベルト構想の香りが残る



第二部は、記念パーティーです。栄耀氏の名言に関する中島先生の特別講義や、ご参加の皆さんによる一言あいさつなどあっという間の2時間でした。スペシャルゲストに、栄耀氏のご親族である杉浦勢之さんと山下俊介さんと、渡邊洋さんにもご出席いただき、栄耀氏のエピソードもお聞きする

ことができました。
渡邊さんのアイデアで、お土産として栄耀氏バージョンのオリジナルチョコレートもご用意。充実した100回記念となりました。
ご協力いただいた皆様、ご参加の皆様、ありがとうございました。

to be continued..

この一冊から始まりました。

「子供達こそ明日の日本の建設者です。(中略)世界の人々が驚く様な美しい新しいまちにする事も、皆、今日の子供達に任された仕事です。」と綴っています。だから、難しいこともしっかりと説明するという姿勢でした。

発行から数十年の時を経て、濱出さんが、この本に出会い、感銘を受けます。そこで、街づくりをテーマにした連載インタビューで、記事にしたところ、栄耀氏のお孫さんである渡邊耕さんとの交流へと発展し、えいよう会の発足につながりました。



『私たちの都市計画の話』 復刻プロジェクトを スタートさせます!

今の時代に読むと、ずっと腑に落ちますが、発行されたのは戦後まもなくのころです。多くの国民が日々の暮らしに精一杯だった時期に、どれだけリアリティーを持って受け入れられたのでしょうか。

しかし、危機の後にこそ、本当はこうした軸を持った考え方が求められます。焼け野原の時代に、都市計画の専門家が理想像を描き、社会に発信していたという事実は、注目に値すると思えてなりません。

21世紀を生きる私たちに求められているものを考える上でも、ヒントとなる部分があるのではないのでしょうか。

そうした観点から、えいよう会新体制の下で、復刻を目指して進めていきます。

といいながらも、現段階では、すべてが未定。どうなるのか!? 乞うご期待!

